

就任挨拶



教育担当理事(副学長) 阿部 文雄

10月から、加野前理事の後任として教育担当理事(副学長)に就任しました。前理事が積極的に取り組んできた教育改革やプロジェクトを引き続き実行していきたいと考えています。まず、通称「現代GP」と言われる、文科省が募集している大型プロジェクトに本学として初めて採択された「地域連携型キャリア支援センターの新機軸」と題したプロジェクトがあります。これは、キャリア支援センターを中心に、教育分野のセンターが連携して取り組むプロジェクトであり、キャリア・カフェやフレンドリー・キャンパス・サポーター制度、キャリア支援大使制度といったさまざまなアイデアが盛り込まれており、地域社会や高等学校とも連携しながら、キャリア教育の新しい展開を図るというものです。人的資源や施設面での課題もありますが、ぜひ成功させたいと思っています。

また、特待生(学業)制度が創設され、初年度の今年、各学部・大学院、各年次から、学業、人物ともに優れた人物として学部長または研究科長が推薦した計58人が選ばれました。さらには、

「大学づくり委員会」を設置して、学生諸君の意見や声を大学運営に反映させる試みや、「学長への提案箱」で、学生諸君の声に、学長がホームページで回答する試み、「香大生の夢 チャレンジプロジェクト」を創設し初年度28件の事業を採択、思い切った政策が次々に企画され、実行に移されています。これらはいずれも、大学改革の一つの柱として、「地域に根ざした学生中心の大学」という目標に沿った改革です。

国立大学は、法人化以降、相当のスピードで改革が進んでいます。それは、大学に果たすべき役割を果たし、あるべき姿になるよう求める大きな力が働いているからだと思われます。アメリカの大学が30年かけて行った改革を日本は5年で実行しようとしているという人もいます。とはいえ、目立った企画ばかりでなく、学生諸君が日々安心して勉学や課外活動に専念できるような、そして充実した大学生活になるよう、きめ細かい学生支援策ができたかと念じております。どうかよろしくご支援お願い致します。